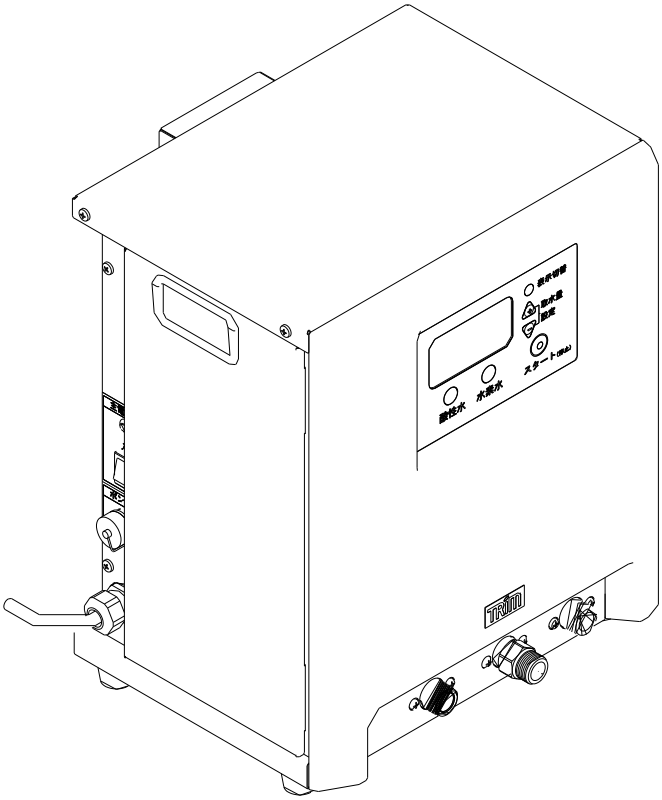


設置説明書

業務用電解水素水整水器

TRIM ION TI-10

お客様に満足してご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みのうえ正しい取り付けをお願い致します。配管及び電気工事はすべて「建築基準法」、「水道法」、「電気工事士法」、「電気工事業の業務 の適正化に関する法律」、各市町村の条例規定に準じておこなってください。

※本製品の取り付けには、配管工事（建設業：管工事業種）と電気工事が必要な場合があります。 （設置場所の近くに100V用アース端子付きコンセントがない場合）

※配管及び電気工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者及び電気工事業者の方にこの設置説明書を確実にお渡しいただき、工事を依頼してください。

TRIM NIHON TRIM CO.,LTD. 株式会社日本トリム

本体設置の前に

■ 事前に設備工事が必要な場合

取扱説明書（表紙裏面）の「事前に設置場所と設備、及び使用条件を確認してください」を確認いただき、設備工事が必要な場合は、事前の設備工事をお願いします。

- 次のような場所には、設置しないでください。
  - ・高温（60℃以上）になる機器等の近く。
  - ・直接日光が当たる場所。
  - ・湿気やほこりの多い場所。
  - ・風雨にさらされる場所。
  - ・油が付着しやすい場所。
  - ・凍結の可能性がある場所。

  ※本器は屋内での使用を想定した仕様です。また凍結の可能性がある場合は、凍結防止の対策が必要です。水漏れ等の原因になります。
- 本器は水圧が 0.25MPa～0.7MPa の範囲が推奨圧です。水圧が低すぎると、通水量が不足します。また、高すぎると故障の原因になります。
- 本器は飲用に適合した水（水道水など）以外は使用しないでください。
- 本器には浄水機能はありません。飲用等の目的で浄水機能を必要する場合は、カートリッジセット(別売品)等の浄水設備をご用意ください。
- 次のような水は通水しないでください。

  ・川の水や、汚れ・濁りの多い水
  ・赤サビの多い水
  ・50℃以上のお湯
  ※活性炭フィルター(別売品）取り付け時は水温 35℃以上を通水ない。
  ・塩分の多い水（海岸近くの井戸水など）

  → 故障の原因になります。

TI-10 の本体設置

- 平らな場所に置いてください。不安定な場所や傾いたところには置かないでください。
- 本器の施工用に給水配管を新設した場合は、給水配管を接続する前に蛇口を開け 10～15 分程度の通水をし、配管内のごみを出してから給水配管を接続してください。
- TI-10 の配管接続の口径サイズは全てG1/2 です。給水元の接続口が異なる場合は別途工事が必要です。
- 出水口 (取水口)や排水口にポンプを直接つながないでください。ポンプ設備をご使用する場合は貯水設備（タンク等）に貯めてから送水してください。貯水設備（タンク等）をご用意ください。
- 出水(取水)ホースは、本体の出水口 (取水口)より高くしないでください。
- 排水ホースは、本体の排水口より低くしてください。
- 電解水貯水設備（タンク等）は、本体の近く（5m 以内）に設置してください。
- 2 台以上設置する場合は電解槽交換時の作業スペースを確保するために、機器同士を 30cm 以上離してください。
- アース線端子付きコンセントがない場合は、アース（接地）工事を必ず行ってください。
- 給水部の配管はフレキパイプ（金属製品）で接続してください。

  ※給水元から本器までの配管距離は、フレキパイプ 2m 分で接続できる長さが基準です。フレキパイプは 3m 分付属していますが、距離が遠くなると配管抵抗が増えるため給水（通水）量が減少します。できるだけ給水元に近い位置に設置してください。

  ※フレキパイプ（1m）を 1 本追加するごとに給水（通水）量は基準値より 0.5～1 ﾘｯﾄﾙ/分前後減少します。

警告　※　本器及び付属品を扱う場合は「取扱説明書」を熟読の上、ご使用ください。

禁止	配管工事（建設業：管工事業種）及び電気工事（電気工事業者）は関連する法令・規定に従って法的有資格者によって実施し、資格者以外は実施しない。
	電源コードを傷つけたり、破損するようなことはしない。 ・ステープルなどで固定したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
	1つのコンセントに多数の電気製品の電源コードを接続しない。
	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない。
指示	電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないこと。
	コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込むこと。
	差し込み口がゆるいコンセントには、使用しないこと。
	電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜くこと。 ・電源コードが傷んだ場合などは、当社に修理を依頼してください。（裏表紙）
指示	本器を誤って水中に落としたり水没したりしたときは、電源プラグをコンセントから抜き、本器を引き上げること。 ・当社に修理を依頼してください。（裏表紙）
	本器の異常・故障が発生した場合は、直ちに使用を中止し電源プラグを抜くこと。 ・点検または修理は当社にご相談ください。（裏表紙）

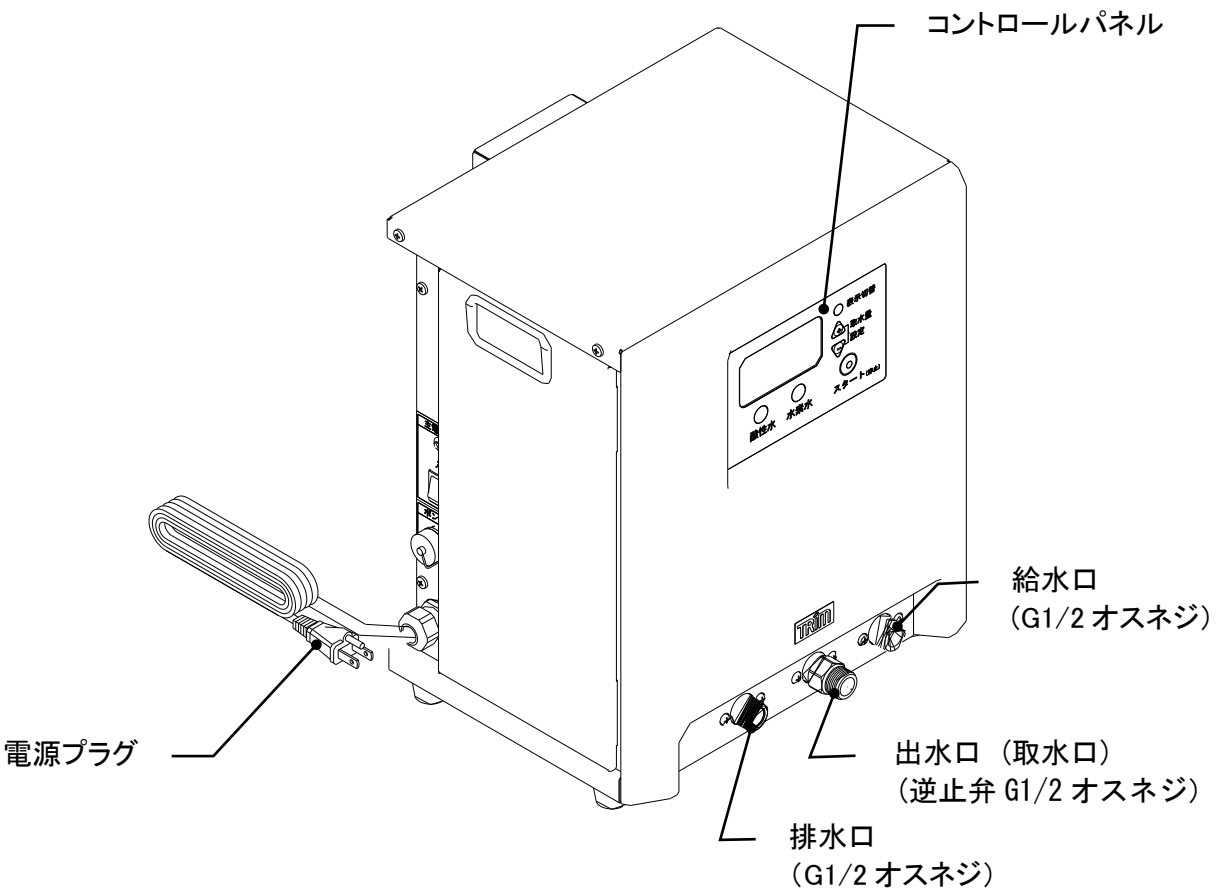
注意　※　本器及び付属品を扱う場合は「取扱説明書」を熟読の上、ご使用ください。

禁止	50℃以上のお湯を本体側に通さない。（表紙裏参照） ※活性炭フィルター(別売品）取り付け時は水温 35℃以上を通水ない。
	飲用に適合した水（水道水など）以外は使用しない。
	本器に使用を許されている構造部品以外を実装、または接続しないこと。
	給湯器や温水器などに直結しないこと。
	水の出口を塞いだり、ホースを折り曲げたり、ねじったりしないこと。
	本器の上に物を置かないこと。
	本体を寝かした状態で使用しないこと。
	出水（取水）ホースや排水ホースの先端を、排水口などのにおいの強いところや、水面に触れさせた状態で使用しないこと。 ・止水した時に嫌なにおい、水や不純物などを排水ホースから吸い上げる場合があります。
指示	アース線端子付きコンセントでアース線を必ず接続してください。 ・アース線端子付きコンセントがない場合は、アース（接地）工事を必ず行ってください。
	平らな場所に置いてください。 ・不安定な場所や傾いたところには置かないでください。
指示	水の出口をふさがないでください。
	配管や本体および接続部分に衝撃を与えないでください。 ・故障の原因となります。
	水漏れをした状態のまま、使用しないでください。 ・速やかに給水元(蛇口)を閉め、当社にご連絡ください。
	取り扱いを間違えると故障の原因となるので、使用方法、使用上の注意を必ずお守もりください。

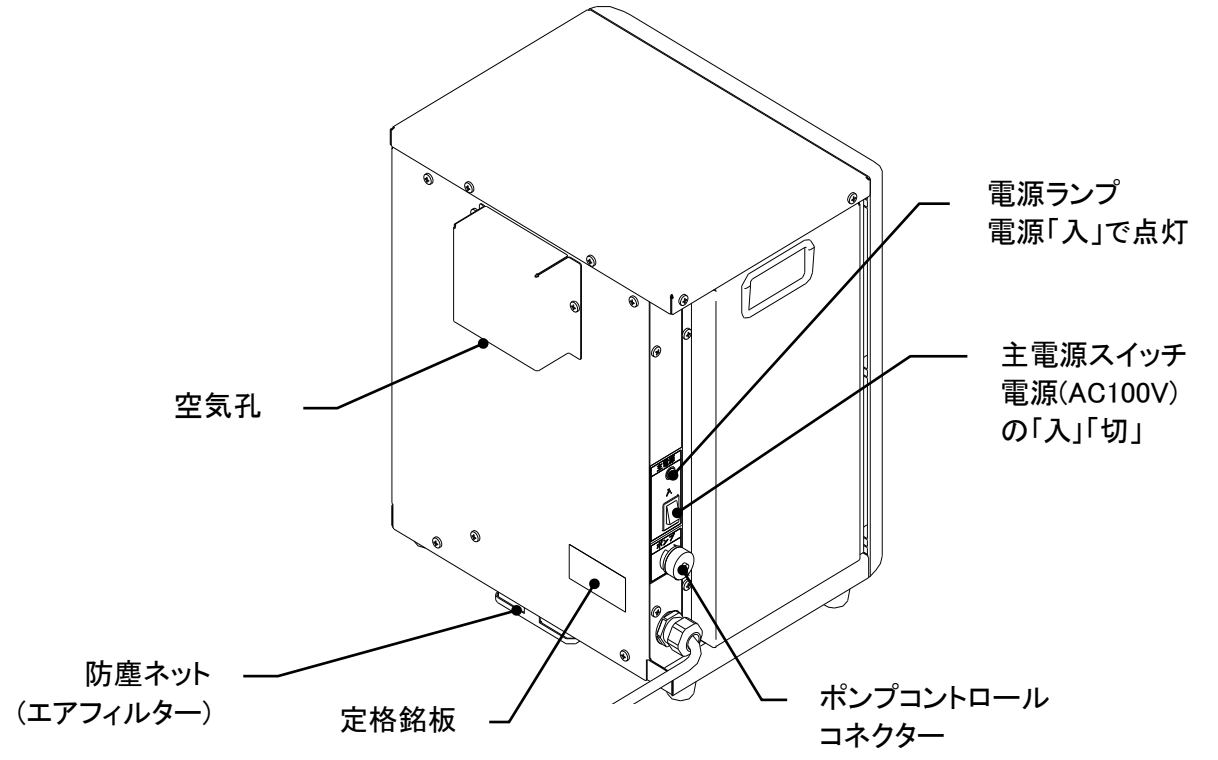
TI-10 本体及び付属品

各部の名称

■本体正面

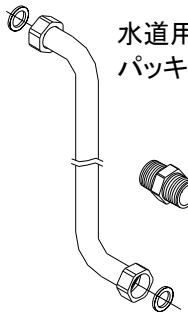


■本体背面



標準付属品

給水配管部品



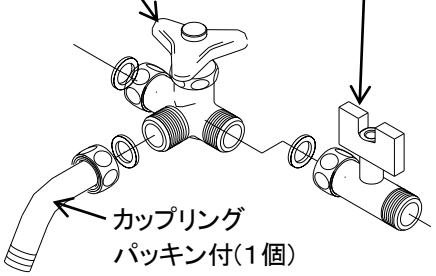
水道用フレキパイプ 1/2
パッキン付 （1m:3 本）

六角ニップル
1/2 （2 個）

給水分岐配管部品

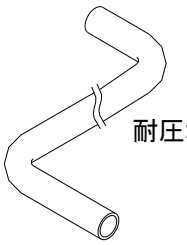
片ナットボールバルブ
パッキン付（1個）

アングル分岐水栓
パッキン付(1個)

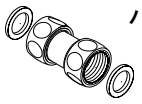


カップリング
パッキン付(1個)

給水配管部品



耐圧ホース
（10m）



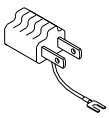
両ナットユニオン 13
パッキン付
（2 個）

ホースニップル 13
（2 個）

強力キカイバンド
（2 個）

19mm ストレーナー
メッシュ付きパッキン(1 個)

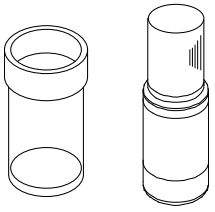
蛇口取付用異径アダプター
パッキン付(1 個)
W26-20:G1/2



コンセントアダプター
(1 個)

pH 測定キット

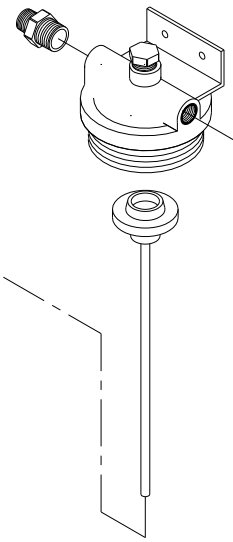
PH 比色紙表



専用カップ　pH 測定液

別売品（オプション部品）

カートリッジーセット (TI-10)　組立部品



LC カートリッジ

- ステンレスハウジング
- 活性炭フィルター（1 本）

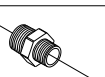
※交換時は販売店に連絡ください。

必要工具

- 六角レンチ/モンキーレンチ

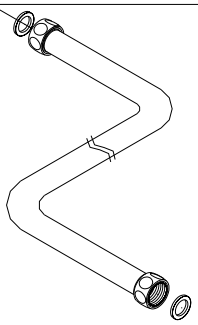
吊金具

S 字フック(2 個)



配管部品

フレキ用ニップル 20×13
異型 3/4×1/2 （2 個）



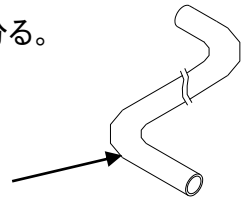
配管部品

水道用フレキパイプ 1/2
パッキン付 （1m:1 本）

1. 配管の組立及び接続

1 接続ホース(取水ホース、排水ホース)の組立

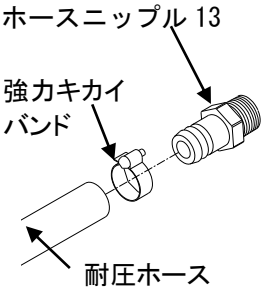
耐圧ホース(10m)を 2 本に切り分る。
※長さは現場対応。

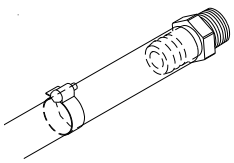


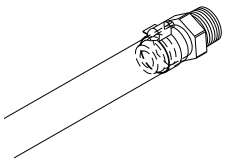
●カットしたホースに強力キカイバンドを通す。

●ホースにホースニップル 13 を差し込む。

●強力キカイバンドをホースニップル 13まで移動させて、ねじを締め付ける。
※ホースが外れないか確認する。

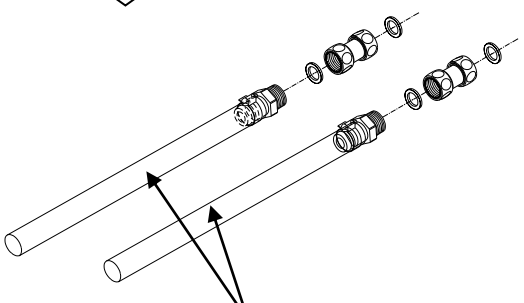






●ホースニップル13に両ナットユニオン13を取り付ける。

●上記の手順でホース接続部を2本作る。



(組立部品)

耐圧ホース	2 本
強力キカイバンド	2 個
ホースニップル 13	2 個
両ナットユニオン 13	2 個

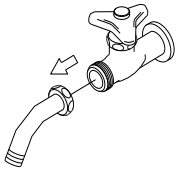
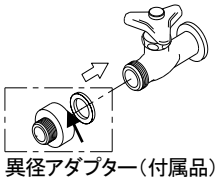
2 給水元への接続

A. 給水元に蛇口がある場合

蛇口の接続について(右図参照)

●先端部のネジ径が G1/2 の場合
先端を外してください。

●先端部のネジ径がW26-20 の場合
蛇口の先端を外し、異径アダプター(付属品)を取り付けてください。
※それ以外の場合は別途配管工事が必要です。

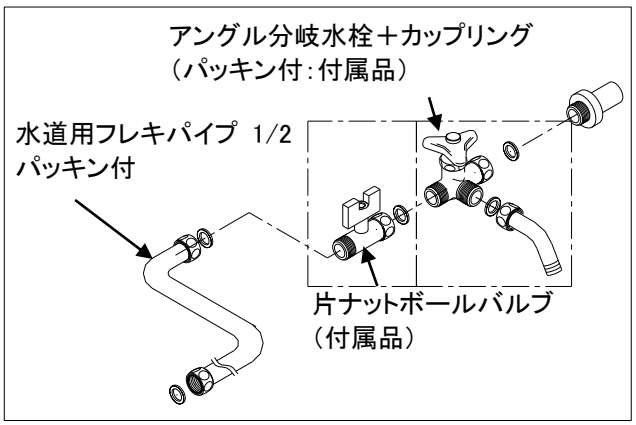
ネジ部G1/2	ネジ部 W26-20
	

B. 給水元の配管工事が必要な場合

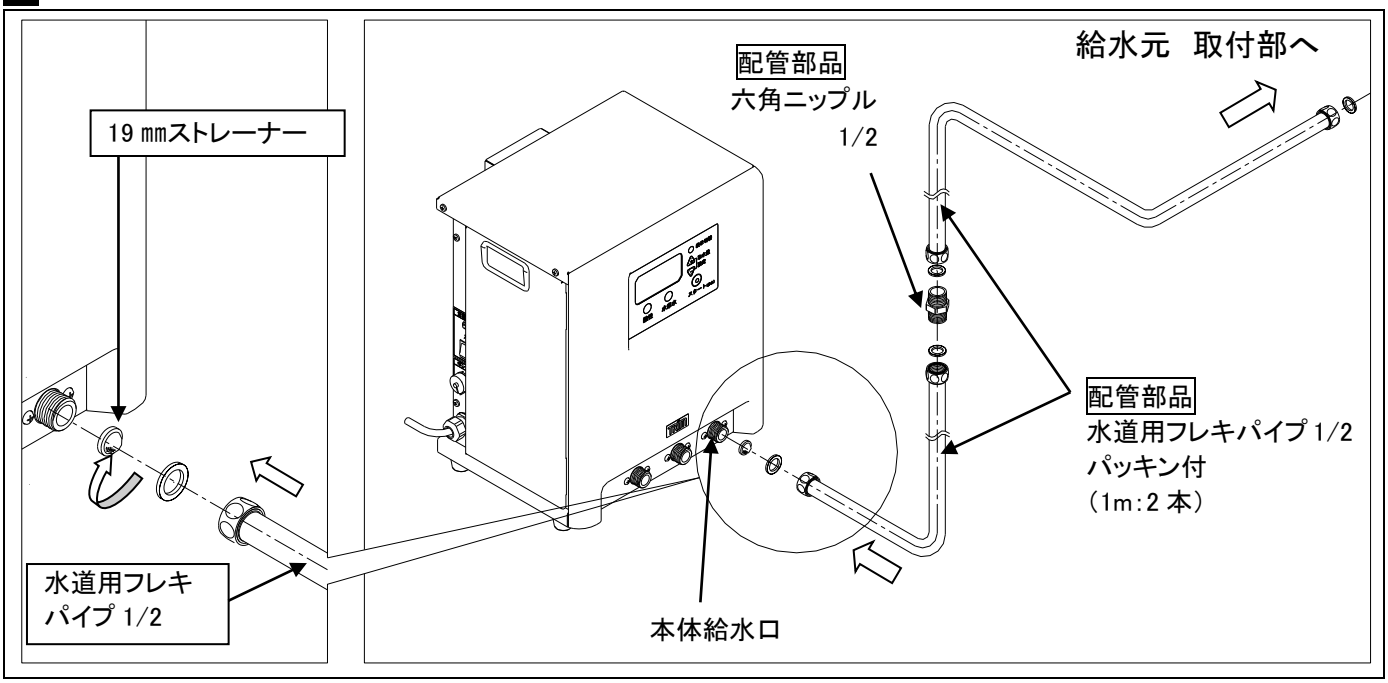
●蛇口が設置場所にない場合は、水道配管工事が必要です。
※給水元には蛇口を取付けてください。蛇口の出口ネジ部は G1/2(オス)又はW26-20(オス)にしてください。蛇口から後の配管は、A. 給水元に蛇口がある場合に従い施工してください。

■給水分岐配管部品(付属品)の取り付け

●給水元の出口に給水分岐配管部品を右記の接続図にしたがって給水元に水道用フレキパイプ 1/2 を接続してください。



3 給水配管の接続



●給水元に水道用フレキパイプ 1/2 を接続してください。

※給水元配管から本器までの距離は、水道用フレキパイプ 1/2　2m 分で接続できる位置に設置してください。水道用フレキパイプ 1/2 は 3m 分付属していますが、接続距離が長くなると配管抵抗が増える為、できるだけ給水元に近い位置に設置してください。水道用フレキパイプ 1/2 間の接続は六角ニップル 1/2 で接続してください。

配管接続する前に本体前面にある接続口（3 箇所）のキャップを外してください。

●本体の給水口と水道用フレキパイプ 1/2 の間に 19 ㎜ストレーナーを入れ取り付けます。

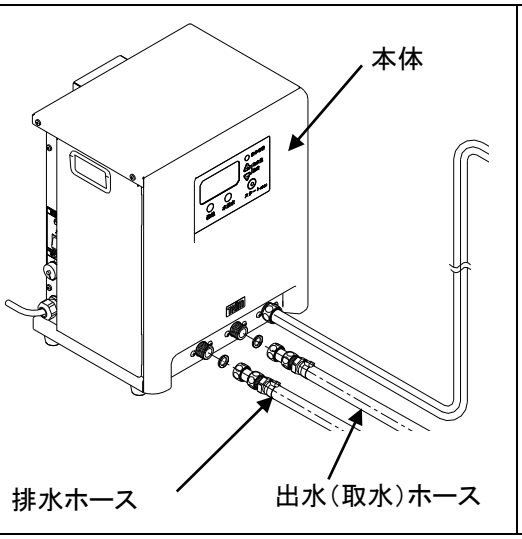
※19 ㎜ストレーナーの取り付け方向は、凸側がマルチホース側に付くように取り付けてください。

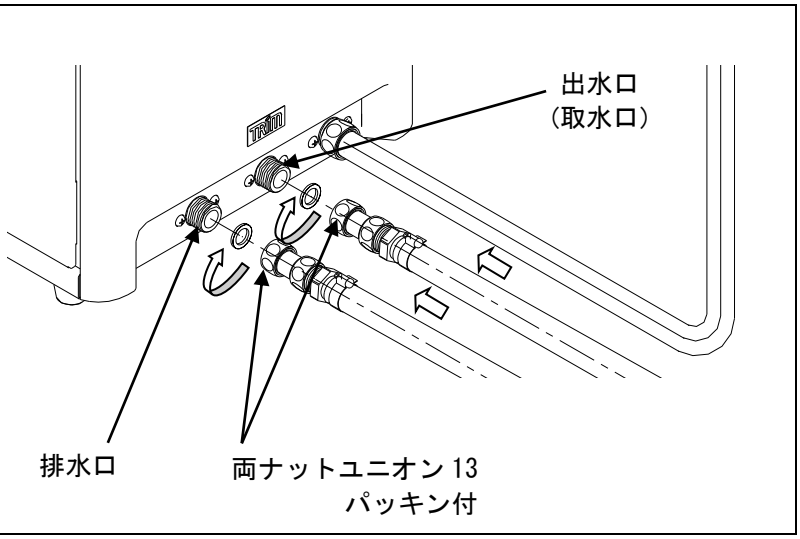
※19 ㎜ストレーナー取り付けの際に、水漏れがある場合は水道用フレキパイプ 1/2 に付属しているパッキンを一端取り外し、パッキン→19 ㎜ストレーナー→水道用フレキパイプ 1/2 の順番で取り付けてください。

※常時水圧が加わる為、水漏れの可能性があります。しっかりと接続してください。

4 本体前面のホース接続

本体前面の出水口（取水口）、排水口にそれぞれ接続ホースを締付ける。





本体前面の出水口（取水口）、排水口にそれぞれ接続ホースを取り付ける。

※本体前面の出水（取水）口と排水口に両ナットユニオン 13 を取り付ける。

●出水（取水）ホースの取り付け上の注意点

※出水(取水)ホースは、本体の出水口 (取水口)より高くしないでください。高くなると取水量が減少し、ためる水量の誤差が大きくなります。また出水(取水)ホースはできるだけ短くしてください。

●排水ホースの取り付け上の注意点

※排水ホースは、本体の排水口より低くしてください。出水（取水）に排水が混入する可能性があります。

●ホース接続の注意点

※出水(取水)ホース、排水ホースの先をポンプに直接つながないでください。

5 別売品について

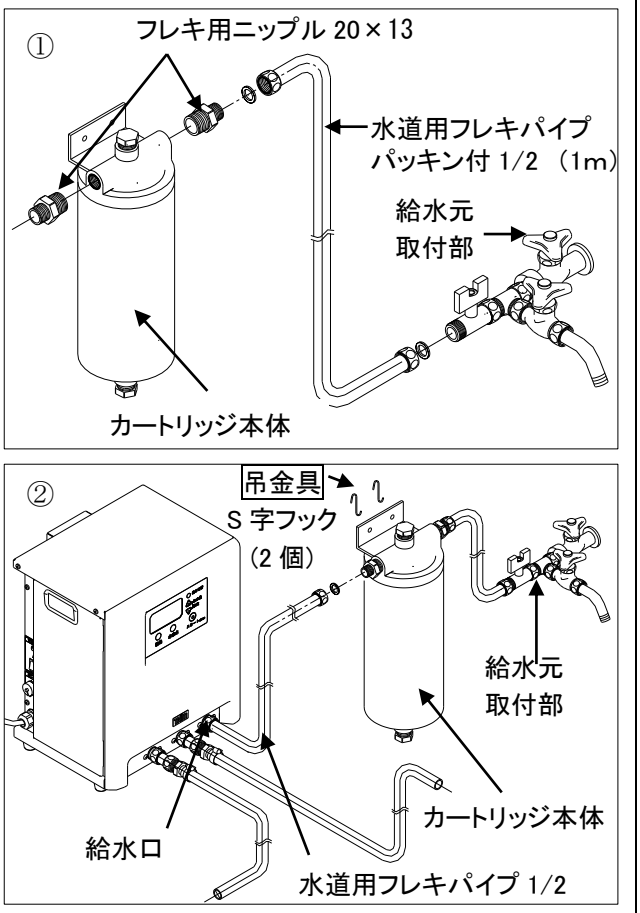
カートリッジセット(TI-10 用)

●本器には浄水機能はありません。
飲用等の目的で浄水機能を必要とする場合は、カートリッジセット(別売品)等の浄水設備をご用意ください。

●カートリッジセットを取り付ける場合は、下記の内容に注意し取り付けてください。

1. カートリッジセット部品(3 点)
   ① カートリッジ本体(LC カートリッジ内蔵)
   ※フレキ用ニップル 20×13 組立済
   ② 水道用フレキパイプパッキン付(1 本)
   ③ S 字フック(2 個)
2. 給水元取付部と本器給水口との間に接続してください。カートリッジ本体は S 字フック(付属品)で吊るしてください。フックを引っ掛けられる位置を確認し、接続してください。(右図①、②は取付け例)
3. 尚、カートリッジ本体を固定したい場合は別途工事が必要です。

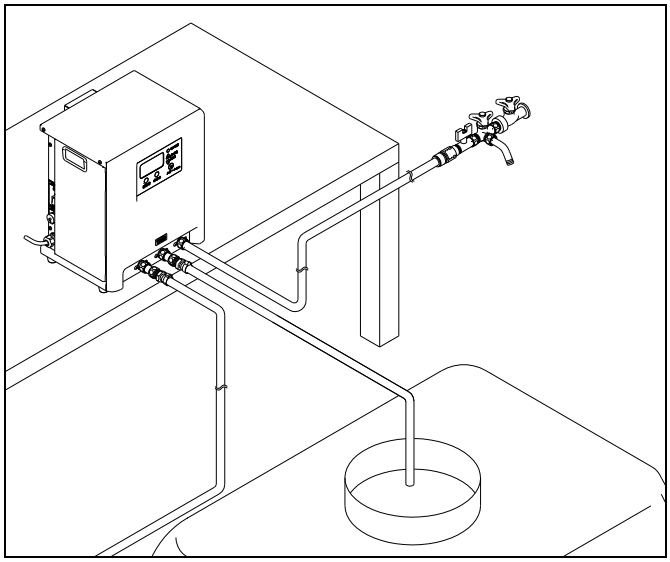
カートリッジセット組立部品



6 貯水設備（タンク）の設置

貯水設備(タンク)はお客様側でご用意ください。

※貯水設備(タンク)を設置する場合は、本体の近くに（5m 以内）設置してください



2. 電源コードの接続

※本器の電源電圧は、AC100V(定格電流 7A)です。ブレーカー及び専用コンセントの設備がない場合、別途電気工事が必要です。コンセントは本体の電源コード(2m)の届く範囲に施工してください。アース端子付きコンセントがない場合は、アース(接地)工事を必ず行ってください。電源コードのプラグはアース付きコンセントに差し込んでください。

3. 特殊対応仕様及び外部システムについて

外部システムの設置等は別途対応となります。
当社にご相談の上、設置検討をお願いします。

4. 試運転　（取扱説明書 P. 7～14 参照）

■　試運転をするときは「取扱説明書」を熟読の上、給水（通水）してください。

① 本体各部の配管接続を再度確認します。
- ・接続間違いや締付け不足。

② 電気配線接続を再度確認します。
- ・電源及びケーブル類の接続間違い等。

③ 給水元の蛇口を全開にします。
- ・配管接続部に水漏れのない事を確認。
- ・本体内部からの水漏れのない事を確認。

④ 本体側面の主電源ブレーカーを ON にします。（電源ランプ点灯）

⑤ コントロールパネルの各スイッチを押して、コントロールパネルの各表示の確認。
- ・[水素水]スイッチ：レベルが変わることを確認。
- ・[酸性水]スイッチ：レベルが変わることを確認。
- ・取水量設定[＋][－]スイッチ：ためる水量が増減することを確認。
- ・[表示切替]スイッチを押して表示が切り替わることを確認。

[表示切替]スイッチ(表示内容)

待機中（停止中）	→ 切替（1）	→ 切替（2） → 元に戻る
●水素水/酸性水（のいずれか） ●電解レベル（1～4） ●ためる水量（最大 2000 ﾘｯﾄﾙ）	●使用水量（トン） ●電解時間(時間)	●通算使用水量（トン） ●通算電解時間(時間)
電解中（通水中）	→ 切替（1）	→ 切替（2） → 元に戻る
●水素水/酸性水（のいずれか） ●電解レベル（1～4） ●たまった水量（ﾘｯﾄﾙ） ●給水（通水）量：ﾘｯﾄﾙ/分表示	●水素水/酸性水（のいずれか） ●電解レベル：1～4 ●残りの時間（分） ●給水（通水）量：ﾘｯﾄﾙ/分表示	●電解電流値（A） ●電解電圧値（V） ●電源温度（℃）

⑥ 取水量を「10 ﾘｯﾄﾙ」（初期設定水量）に設定して[スタート（停止）]スイッチを押し、自動的に停止することを確認します。（バケツ等にためてください。）

⑦ 電解水を採水し pH を測定します。（取扱説明書 P16 参照）

以上で試運転は終了です。